

令和元年度（第10回）地域医療福祉フォーラム2019アンケート結果

日時：令和元年12月8日（日）13:00～16:00

会場：近江公民館

アンケート回収82人／参加者128人

テーマ：住み慣れた地域で自分らしく暮らすために わたしにできる、最初の一步

1、属性について

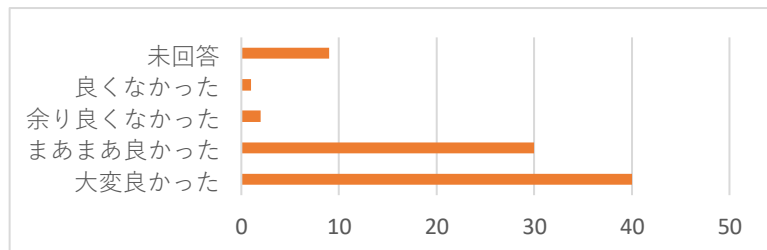
住居地	米原市	長浜市	その他				
	53	25	4				
性別	男性	女性	未回答				
	29	51	2				
年齢	40歳未満	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	未回答
	1	18	15	22	20	5	1
所属	一般市民	医療関係	介護福祉関係	行政	未回答		
	39	12	8	17	6		

2、本フォーラムは何で知ったか

	チラシ	市の広報	広告	人から聞いて	その他	未回答
	45	18	0	13	3	3

3、第1部講演について 大野木長寿村まちづくり会の活動報告

大変良かった	40
まあまあ良かった	30
余り良くなかった	2
良くなかった	1
未回答	9



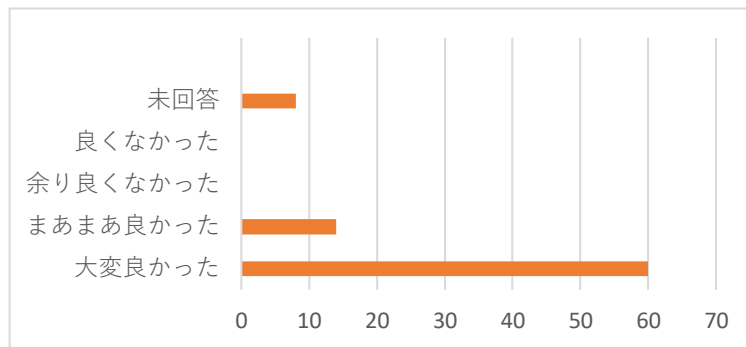
※ご意見

- ・75歳になってから活躍できるということ、補助金は不要、自分達でできるという話が刺激になりました。
- ・10年前から地域活動をされている。子供から高齢者までが参加できるように地域内で話し、ひとり暮らしへの支援で最期まで看取る事は、世帯数が130件の地域だからできることだと思いました。
- ・地域で高齢者「がんばらねばならない」と話しておられたこと。また、行政の補助金をもらわない方がよいとのこと意見に考えさせられた。
- ・今までから良い話を聞かせて頂いていましたが、三顧の包摂にはびっくりしました。当地域は無理かも…後に続く世代が問題になるのでは？
- ・活動内容を具体的に教えて頂けるとよかったですと思います。その上で主観を述べて下さる方が、なぜそのような考えに至ったのかがわかり易かったのではと思う。
- ・感銘した。頑張ってください。

- ・その地域で誰かが先頭になってくれる方がいないと…
- ・地域づくりのバイブルみたいです。おせっかいという名の支援が残りました。
- ・「まちづくり」に向かう矜持。
- ・人の為に、その深さに感心した。
- ・「おせっかいアウトリーチ」全国に広げるべきと思いました。「75歳からが出番」印象に残りました。
- ・地域から発信する必要。75歳以上が頑張る時代。（すごい！）
- ・地域力のすごさ感激しました。
- ・大野木まちづくり会の取り組みも聞きたかったのに、重点がずれていて残念でした。
- ・価値観の違う人たちを前に継続できた。
- ・2040年問題は今働さざかりで、高齢者問題等考えてもらえない。今の高齢者がよい地域の仕組みをつくっておいてやらないと…。75歳以上なので
- ・地域から立ち上がる。地域ですでに実践され、そしてこれからを考えて、組織を作っていくしくみを作られている姿を教えていただき、今後を考える糧となりました。
- ・地域の取り組みと、それを支えるスタッフの熱意に感激しました。
- ・少しむつかしかったかな。
- ・地域お茶の間サロンの一歩踏み出しの参考になった。
- ・本来の大野木まちづくりの話をしてほしかった。知識がある事はわかりましたが、残念です。違う人の話が聞きたかった。
- ・一度訪問してみたい。
- ・社会全体が昔に返っていくように感じており、地域で見送る取り組みを頑張っていることに感心している。なかなかそこまで入っていけない。
- ・活動範囲が広い。
- ・75歳からがこれから出番という事が心に残った。
- ・高齢者が主体的に取り組むべきという考え方に共感する。
- ・何回かお聞きしていますが、切り口が異なり、今日も参加してよかったです。70歳になり、色々なことから手を引く予定でしたが、周囲に惑わされることなく、益々地域づくりに参加します。
- ・インフォーマルである事でたくさんの壁を乗り越えられるということ。
- ・おひとりさまの最期
- ・大野木の活動をすこししかわからなかった。
- ・地域の高齢者が助け合うことの大切さ、若い世代の事も考えて今の行動の大切さ、この思いの輪が広がりますように！
- ・人生最後の迎え方もまちづくりということに驚きました。
- ・高齢になっても、自分のために働き続けることの意味と背景がわかった。
- ・藤田さんの熱い思いは刺激になった！
- ・手を挙げる人がいない。
- ・70歳を超えてこれからと言われた藤田さんの言葉に意欲が出てきた。

4、第2部講演について どの世代も住み慣れた地域で暮らして頂くために、ふくしあ取り組み

大変良かった	60
まあまあ良かった	14
余り良くなかった	0
良くなかった	0
未回答	8



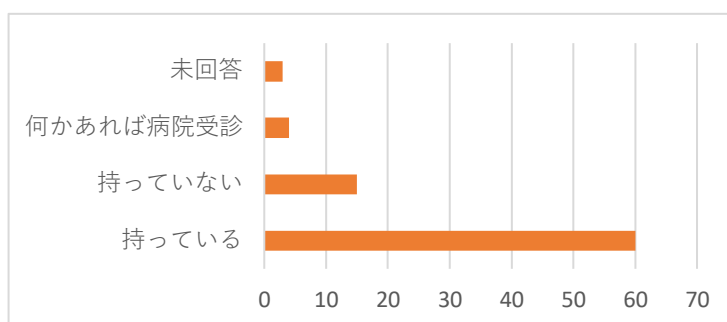
※ご意見

- ・地域に中村先生のような医師がいる幸せ。こういった医師が増えてほしい。
- ・ターミナルケア、各年齢の看取りでその方々の最後の在り方もそれぞれあること。残された家族への配慮、取り組み。各医療機関との連携の大切さを感じた。
- ・中村先生のターミナルケア、在宅医療のいろいろ、テレビだけでなくこの地域にもあるんだなと思った。
- ・献身的に地域医療にご努力いただきありがとうございます。
- ・先生、ご苦労様です。
- ・取り組みの内容、先生の熱意が伝わって来た。
- ・事例がわかりやすく、認知症対応に力を入れて下さい。
- ・近くに生活しています。具体的な事例が聞けて自分達もお世話になる事があるかもと安心できました。
- ・わかり易い説明でした。
- ・看取りの紹介が大変良かった。
- ・中村先生に感謝。知らない世界を知った。
- ・自身が抱える在宅医療、看護に励ましをもらった講演でした。在宅看取りの限界にパワーをもらいました。
- ・近くに往診してもらえる先生がおられ、安心です。
- ・常に患者の為に創意工夫、そして寄りそっておられる。
- ・先生が一人一人に寄り添っておられる、姿勢に頭が下がる思いです。
- ・在宅医療の現状等がわかり、参考になった。
- ・私も診て頂きたくなりました。
- ・多職種連携の大切さ、多世代、多世帯支援の在り方とても良い気づきでした。
- ・身近に「ふくしあ」があることにとても感謝しています。ありがとうございます。
- ・スタッフや医療機関と良くつながりを作って頑張ってみえる。
- ・ターミナルケアの話を聞いて涙が止まりませんでした。広範囲な取り組みで先生の身体が心配です。頑張りすぎずにボソボソ長く続けて欲しいです。
- ・お客様本意
- ・在宅看取りが参考になった。
- ・なかなか往診や訪問診療をしてくださる医師が、近江八幡では少なくなっています。あきらめずに全世代に関わりをもって下さる医師、医療機関が増えるよう声を上げて行こうと思います。

- ・施設の事を何も知らなかったから、少しわかってよかった。
- ・看取りのケースを聞くことができて良かった。湖北でも自宅で最期を迎えられそうと思った。
- ・経験豊かな先生。
- ・中村先生のわかりやすいお話をしてくださいました。ありがとうございました。
- ・中村先生のお話を聞いて、なんて大らかなお人柄と感動しました。また、実家の母の介護の手伝いと姑に関わっていかうと思えました。
- ・在宅医療の現場のお話を聞くことができたこと、そして地域で医療の取り組みはどんどん繋がっている事がよくわかりました。
- ・先生の今までの活動を通じ在宅医療の素晴らしさが伝わってきた。
- ・総合的な診療をされて感心しています。素晴らしい先生です。

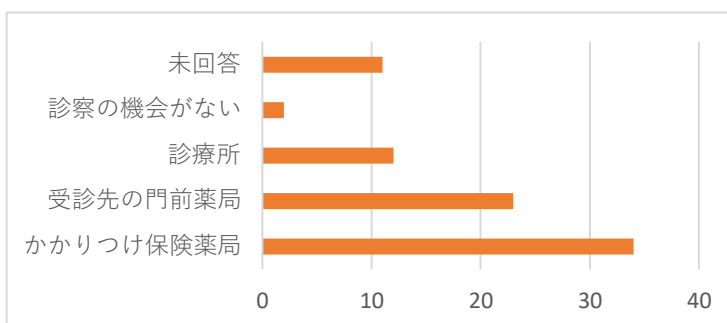
5、かかりつけ診療所を持っているか

持っている	60
持っていない	15
何かあれば病院受診	4
未回答	3



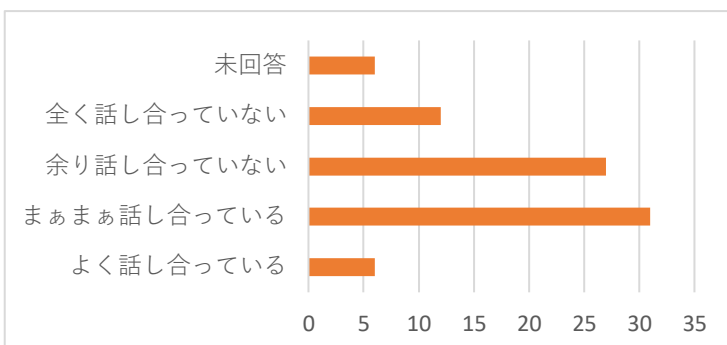
6、診察後のお薬は何処で貰っているか

かかりつけ保険薬局	34
受診先の門前薬局	23
診療所	12
診察の機会がない	2
未回答	11



7、人生の最終段階についてご家族やご友人と話し合っているか

よく話し合っている	6
まあまあ話し合っている	31
余り話し合っていない	27
全く話し合っていない	12
未回答	6



8、希望する場所	9、希望する場所で最期を迎えられると思うか／その意見	
自宅 (15)	思う	<ul style="list-style-type: none"> ・家族の理解、家族の負担を考慮する必要がある。 ・明るい未来をみることができました。
	思わない	<ul style="list-style-type: none"> ・いずれ、病院か施設のお世話になると思うから。 ・周りも子供も家にいない。 ・病気とかで入院先の病院になるかも知れない。 ・誰にも伝えていないので。
	分からない	<ul style="list-style-type: none"> ・周りの環境の変化で変わってくると思います。 ・この先、持病もありどうなるか？ (今は元気でサロン、お茶の間にボランティアをしています) ・その時の家族の状況等、見通しが立たない。 ・子供の考え、負担、その時の流れがわからないので。 ・これから自分の家族、社会がどうなるかまだわからない。 ・最期は自分はそう思っているけど家族に迷惑をかけたくないと いう気持ちもある為。 ・その時の状況によって、在宅看取りが可能な状態か分からない為。 ・その時の状態で家族に負担かけられるかわからない。 ・家族への負担を考える時。
施設 (2)	分からない	<ul style="list-style-type: none"> ・今後どのような社会になっていくのかわからない為。 ・ただ、今病気になった場合は自宅も考えたい。 ・今後の社会の変化によるため
病院 (3)	思う	<ul style="list-style-type: none"> ・最期は自宅がいいと思いますが、たくさん体調不良の所があるので、 迷惑がかかると思うから。
	思わない	<ul style="list-style-type: none"> ・家族がどう思っているか？
	分からない	<ul style="list-style-type: none"> ・家族の負担になることへの抵抗感がある。
その他 (5)	分からない	<ul style="list-style-type: none"> ・要介護の親をみて、また、介護のお手伝いを少ししていますが、 長期化するととても大変だと思っているからです。安楽死も考える 必要があると感じています。(ホスピス) ・経済的に余裕がないから。 ・自分個人的には、家族に負担をかけないようにして最期を迎えたい と思う。 ・どこでもよい。自分のその時の状態で一番よい場所でできたらよい。 ・必ずしも在宅にこだわっていない。 ・孤独死していなければどこでも。いつ来るかわからないことなので 今の段階ではわからない(40歳代)

10、湖北の医療や介護について、不安や困りごとがあればお聞かせください

- ・昔は往診が身近だったが、今は何か事面倒に思える。手軽ではない。
- ・往診医が増えるといい。
- ・介護施設も少なすぎる。ベット数が少なすぎる。
- ・連携が大切だと思う。まだまだ不安を抱える。老人が多くいる様に思う。
- ・長浜地区、米原地区の機能がわかりにくい。
- ・先生方が市民に言いたいことをお聞きしたいです。
- ・市民病院の科目が少ない。大垣市内に行っている。
- ・長浜病院は医者が少なく、時間が長くなり大変です。もっと医者を増やしていただきたいと思います。



～元気な高齢者が地域を守る～

75歳からがあなたの出番ですよとメッセージ

参加者の印象に深く残りました。

おひとりさまでも安心して最期を迎えらえる地域づくりが必要です。（三顧の包摂）



障害を持った人も、認知症を患った人も、小児も

成人も、高齢者も、みんなが同じ場所において

自然な形でいられる地域づくり

様々な機関とふくしあが繋がってワンストップ窓口に！



村居田出身のシンガーソングライター、岡田さんから

3曲を披露して頂きました。

フォーラムのオープニングに相応しく、伸びのある歌声で客席の♡を驚つかみしました。



総合司会の辻幸子さんには、昨年と同様、うまく進行をして頂きました。

128人の方にご参加頂き、盛況の中で幕を閉じる事ができました。深く感謝申し上げます。

文責 長浜米原地域医療支援センター